



今月号のテーマは、「教職員の時間の使い方」です。校内での仕事も、自身のライフワークも、どちらも充実している方を、ご紹介します。

Topic

①

教職員の働き方を紹介します ～身近にいる かついい先輩編～

T先生 (磯子区) 中学校社会科教員 (6クラス週 18時間) + 1年生の学年主任 + 剣道部顧問 + α



- 「子どもたちと一緒に剣道がしたい。剣道を教えたい。」そんな思いもあって先生になりました。
- 仕事が終わってから土日を含めて週に3~4回は道場に通り、2時間ほど剣道をする生活を続けています。

ほぼ毎日

19時までに退勤

退勤後は…

例えば、家族とプールに行き、その後、スーパー銭湯。好きなテレビ番組を観ながら団らん。剣道の稽古。家族との時間や自分の時間を充実させています。

職場では



校長先生

T先生は職員を中心となって活躍しています。自分や家族の生活を大切にしながら、みんなが安心して働ける雰囲気をつくってくれるすばらしい先生です。小さなお子さんがある先生も、T先生についていこうとする気持ちが伝わってきます。

T先生にインタビュー

Q 時間の使い方で工夫していることは？

日課

- ① 授業のない時間は、まず、掃除をしながら学年の生徒の様子を見に行く。
- ② その後、職員室に戻り、教材研究・各種便りの作成 + 試験問題を少しずつ作成。
- ③ 月曜日は部活だよりを作成。月末は学校だよりを作成。

計画的に

- ① 試験を区切りにして、1か月以上先まで予定を立てる。(例: 12月中旬には、2月下旬まで)
- ② 1か月の計画を立てて、教材研究や評価。
- ③ 計画をもとに、時間をみつけて少しずつコツコツ。
- ④ テスト期間中(初日が多いですが)に、可能であればテストが終わってから半休を取るようにしています。
- ⑤ 生徒の様子を見ながら、確実に授業改善にも取り組む。

学年の会議は

- ① 小さい子どもがいる同僚もいるので、1時間以内に。
- ② 担当者と事前打合せをしてから提案してもらう方法に変更。→ 時間短縮。生み出した時間で、生徒の様子をしっかりと共有。
- ③ 会議は勤務時間内に。

Q 職場でのコミュニケーションで大切にしていることは？

- ① 職員室に笑いがあり、いつも明るくなるようにしています。自分の話も進みますし(笑)。みんなを一枚岩にするのが大切。楽しいことをすることが好きなので、「職場のみんなとの楽しい計画(勤務外)」も立てています。
- ② 同僚が年休を取る時にも、「すみませんは言わなくていいんだよ。」と話しています。
- ③ 仕事をしていると大変なこともあります。プラス思考の性格なので大変だと思わずやれています。(こんな性格に生んでくれた親に感謝しています。)

Q 部活動指導で工夫していることは？

- ① 土日はどちらかが休みになるように予定を立てています。12月は全ての日曜日を休みにしました。
- ② 2人の顧問で分担しながら進めています。(例: 予定が入っているときなど、試合の引率を午前と午後で分ける)



取材を終えて



印象的だったのは、T先生がとても楽しそうだということ。生き生きと話す姿から多くの元気をもらいました。(これは、生徒も同僚も同じように感じているかもしれませんが。) 教員という仕事に誇りをもち、授業も学校のこと部活動も、持ち前の前向きさで、全力で取り組むT先生。「生徒のため」と同じくらい、T先生がご自分のご家庭や生き方を大切にしていることが伝わってきました。働き方は人それぞれですが、T先生から学ぶ(まねる)ことは多くありました。みなさんの周りにも、こんなにかっこいい教職員がいらっしゃるのでは？

お知らせ



「明日からの一歩へ 教職員の働き方改革ワークショップ」開催

対象: 主に主幹教諭や一般教職員

日時 2月20日(木) 15:00~

会場 富士通エフサス
みなとみらい Innovation & Future Center1月20日発行 申込締切 2/13(木)
教政第233号をご覧ください

今年度の「教職員の働き方ワークショップ」は、株式会社富士通エフサス様の協力を得て開催します。

昨年度までとは趣向を変え、今年度はワークショップ形式。参加者ご自身が自らの働き方について考える機会にしていきます。参加者のワークを通じた意見交換、富士通エフサス様からの情報提供、業務改善アドバイザー 妹尾昌俊氏の総評などの内容を予定しています。「明日からの一歩へ」とつなげてみませんか。

(1) 「教職員の働き方改革プラン」達成目標との比較・推移 (令和2年1月21日時点)

項目				目標
時間外勤務月 80 時間超の教職員の割合				0%
令和元年12月実績				
平均	小学校	中学校	特別支援学校	参考値 高等学校
6.7%	1.4%	18.8%	0.6%	7.9%
😊 前年比 -0.2	😞 前年比 +0.6	😊 前年比 -2.0	😞 前年比 +0.2	



項目				目標
19 時までには退勤する教職員の割合				70%以上
令和元年12月実績				
平均	小学校	中学校	特別支援学校	
75.2%	73.9%	74.2%	91.4%	
😊 前年比 +0.5	😊 前年比 +0.4	😊 前年比 +0.8	😊 前年比 +0.9	



※退勤管理を導入した小・中・義務・特支の教員について、ICカード等による記録から機械的に算出した集計結果。(以下、同様)

(2) 時間外勤務 (令和元年12月) の詳細

◇ 時間外勤務の割合 (全校種平均)

平成30年12月	6.9%	21.6%	71.5%
	80時間超	45時間超80時間以下	45時間以下
令和元年12月	6.7%	26.9%	66.4%

◇ 時間外勤務の割合 (校種別割合)

月あたり 時間外勤務	100時間超	80時間超 100時間以下	小計 80時間超	小計 45時間超80時間以下	小計 45時間以下
	小学校	0.2%	1.2%	1.4%	26.5%
前年比	+0.1	+0.5	+0.6	+7.1	-7.7
中学校	8.0%	10.8%	18.8%	32.5%	48.7%
前年比	-1.7	-0.3	-2.0	+2.4	-0.4
特別支援学校	0.1%	0.5%	0.6%	6.0%	93.4%
前年比	±0	+0.2	+0.2	+3.3	-3.5
平均	2.6%	4.1%	6.7%	26.9%	66.4%
前年比	-0.4	+0.2	-0.2	+5.3	-5.1
【参考値】 高等学校	2.7%	5.2%	7.9%	24.2%	67.9%



12月中旬までは繁忙期の1つ。数値としては昨年度よりも大きく改善されませんでした。今年度も残り2か月。年休取得日数について、ご自身がどのくらい取得しているか、確認をしてみてください。

高等学校でも、ICカードによる出退勤管理が始まりました。今後、分析を進めていきます。

※本資料の数値については、項目ごとに四捨五入により端数処理を行っているため、合計と内訳の和とが一致しない場合があります。